

鎮西学院だより「シャロン」

2016. Vol.2

Sharon

2016年度 鎮西学院目標聖句

「確かに未来はある
貴方の希望は断たれることはない」

旧約聖書 箴言23章18節



愛あふれる教えを

自分が人の役に立っている
人から信頼されているという
意識を持ってほしい

学校法人鎮西学院 理事長 栗林 英雄

Profile

昭和9年2月9日生まれ。鎮西学院高等学校、早稲田大学商学部卒業。九州ガス設備株式会社代表取締役会長、(株)サンフリード代表取締役会長、諫早商工会議所会頭、長崎県教育委員長などの要職を歴任。平成20年学校法人鎮西学院理事長に就任、現在に至る。平成23年旭日小綬章受章。

鎮西学院中学校、鎮西学院高等学校の出身で、
長きに渡り校友会会长も務めた栗林理事長は、
誰よりも鎮西学院のことを知り、
鎮西学院のことを愛しています。
135年という節目を迎えるにあたり、
お話を聞きしました。



沖縄県石垣島



徳を積む」といふことを

いちばん大切に

今年、鎮西学院は創立135周年を迎えます。創立者C.S.ロング博士が抱いた開学の精神は、今まで大切に受け継がれてきました。

「当初の名称は、加伯利(カブリー)英和学校。英語を通じて世界を理解しよう」というのが発端で、英語を中心に教育の指針を求め、キリスト教に基づく人格形成を行ってきました。ささやかでもいい、人から当たりにされる、人の役に立つ隣人の心の傷みがわかる、傷みを和らげる。そういう人になつてもらいたいという人間教育を135年培つてきたわけですよね」。

勉強も鍛える、スポーツも鍛える。でも、そこには人間的なあたたかみがある。鎮西学院ならではの素晴らしい教育です。「落ちこぼれを出さない。縁あって鎮西学院に来てくれた子供達を大事に育て、社会に送り出そと。だから、入った時と出て行く時では、随分違いますよ。やはり、導くということ。人間というのは、先輩や目上の人があなたを導いてくれないとわからないわけですよ」。

学ぶことの目的は、決して偏差値だけではないとお考えだとか。

「偏差値は、大学を受けるための1つの戦法であつて、それが人生のすべてではありません。学問によって、自らを鍛え、脳の活性化を図つていくと同時に、自分の学

問が、世のため、人のために役に立つているかを考える。知識も武学も大切です。でも、徳を積むことがもっと大切だと思いません」。

理解し合うといふ 平和の原点を忘れずに

鎮西学院は、平和の意味を問い合わせてきました。学是の中にも、「平和の使徒であれ」という言葉があります。

「今は、誰もが、平和、平和と言つていますが、我々は創学以来ずっと平和を唱えています。理解し合う、憎しみを捨てるというのが、平和の原点ですね。本当に人を愛しているか。自分以上に人を幸せにしたいと考へているか。世の中の風潮に従つているだけじゃないか。人を思う、人を大切にする心を持ちたいですね」。



常に学ぶ姿勢を 持ち続け次なる ステップへと

学者で東京大学名誉教授の姜尚中(かんさんじゅん)さんが、鎮西学院の教育顧問に就任します。それに先立つて、2月2日には講演会も開催されます。今後の展開に、ますます期待が高まります。

「姜先生は、とても人間性豊かな方です。先生が体験されたことを教えていただきたい。そして、教わると同時に学ばなければいけない。講義はもちろん、折々には市民対象の勉強会や講演会も考えていま

す。先生の存在によって、鎮西学院全体が

理事長は、ラグビーのチームプレーの精神「One for all, All for one」、「1人はみんなのために、みんなは1人のために」のように、互いに助け合い、感謝し合うことを重んじています。

「先生が生徒を心から教え育む。生徒が先生を親しみながらも尊敬する。そういう雰囲気を醸し出すことが大切だと思います。そして、みんなが感謝の気持ちを持つていれば、いやな思いをせずにすむと思いますね。せめて学

院の中では、感謝の気持ちを持つてもらいたいですね」。

自然を相手にする、年齢や地位など全く関係のない世界です。

「海に潜れば、インストラクターの指示は絶対。若者から教わるというのは、1つの快感。おもしろいですね。それに、学業、仕事、趣味、何に関しても、人は悔しさを感じないといけない。悔しさを覚えてワンステップ。悔しさを糧として、頑張らないといけないです」。

常に学ぶ姿勢を持ち続ける理事長。

88歳の米寿までダイビングに挑むという

情熱に感服です。これからも、愛あふれる

言葉で叱咤激励をお願いします。



フィリピンセブ島

さらにより良い方向へ向かうと思っています」。

様々なことを極めてきた理事長は、趣味もいろいろ。中でもダイビングは、かなりのキャリアだとか。

「ダイビングを始めて22年。せつかく与えられた人生、楽しく生きていきたいですね。何事にもルールがあって、ルールを乱すことによって、自分のマイナスになる、人に迷惑をかける。ダイビングは、そうしたことを見つけてくれます」。

先輩、こんにちは！

「大切なのは、相手の立場に立つということです。」

柏谷製網株式会社 会長
柏谷 勝(かすたに まさる)さん

Profile

鎮西学院高等学校卒。
東京経済大学(短大)卒業後、大手製網会社での研修を経て、家業の柏谷製網に就職。1966(昭和41)年の有限会社化を経て1972(昭和47)年に株式会社に組織変更。1985(昭和60)年に父親の跡を継ぎ社長就任。2010(平成22)年、取締役会長に就任。

人間を育てる鎮西学院で

大阪の八尾市で生まれた柏谷さんは、人情味あふれる親分肌。5歳の時に、母親のふるさと諫早に疎開してきました。

高校時代は柔道部のキャプテンを務めていたそうで、柔道は3段の腕前です。「柔道部の仲間とは、今でもつきあいがあります。私達の時代は、転んでいる人がいた

声を掛ける、困っている人がいたら助ける、そういう気持ちがありましたよ」という柏谷さん。学業優先で、人へのやさしさや人間関係が稀薄になつていくことを懸念しています。「自分さえ良ければ、勉強さえできれば」という教育を受けた人が、社会に出たらどうなるのか。日本の舵を取つたらどうなるのか。私達は、鎮西で素晴らしい教育を受けました。昔も今も、

鎮西は、一人ひとりを重んじる、人間を育てる学校です」。鎮西学院を巢立つてから半世紀以上、鎮西スピリッツを息づかせ、母校への誇りを抱き続ける柏谷さんです。

求められる提案を幅広く

高校卒業後、東京の短大に進学。「ものづくりが好きだから家業を手伝おうと思つて、諫早に戻つてきました」。撲糸(ねんし)機械の技術者だった父親が、終戦の



本社工場空撮

敷設という提案型営業を考案。九州一円から沖縄、中国、関東へと販路を広げていきました。さらに、多くの漁労長を雇い入れ、漁場作りのサポートを本格化。また、単身乗り込んだ沖縄では、定置網漁はもとより魚の販売も手伝い、大幅な収益アップを成功させました。

翌年に現在の本社地に撲糸機械を据えて糸作りを開始。チャレンジ精神あふれる柏谷さんは、時代を読み、新たな仕事を果敢に挑んでいきました。「物売りの商売をさせてほしいとおやじに頼んで、いろんなものを売つて回つていたんです。そしたら、『注文取りだけではだめだ。とにかく魚の取り方を勉強しないと網は売れないぞ』と教えてくれた漁労長がいたんですね」。アドバイスを真摯に受け止め、父親とともに漁場診断、網の設計・製作、

新たに海、陸、海外へと

そして時代は、「取る漁業」から「育てる漁業」へと。1982（昭和57）年から合成繊維大手の東レと共同で、樹脂100%の養殖用の生簀網に取り組みました。編目を亀甲の形状にして、結節部に2回ひねりを加えることで強度が高められ完成したプラスチック製網「KIKKONET（キッコーネット）」。最初こそ苦戦したもの、その良さが口コミで広がり、確実に受注が増えていきました。「耐久性のある網を広めたら市場に限界が来る。地上部門に乗り出し、日本がいっぱいになつたら世界に出ればいいと考えてきました」とビジョンを語る粕谷さん。

「落石防護、海や川の築堤根固め、高速道路への小動物侵入防止網など使用場所は多様に広がり、イタリア、アメリカ、ネパール、オーストラリア、ノルウェーなどの企業と契約するなど、海外進出も順調に伸び続けています。」

「私が大切にしてきたポリシーは、相手の立場に立つということです。それは、仕事をしていくうちに、だんだん気づいてくるわけですね。私も最初は、作りやすいから、儲かるからと、自分本位で売つていましたよ」。努力を重ね、継続することで、顧客ニーズが明確になつてくるという粕谷さん。お客様の立場で諫早を見つめ、お客様の求めるものを提供していくことを提案します。「諫早にはいいものがたくさんあります。頑張っている人がたくさんいます。ただ、そのことがあまり知られないように思います。自己アピールをどんどんした方がいいと思いますね」。諫早から世界に向けて情報を発信し、世界を相手にする粕谷さん。常に闘志満々、何とも頼もしい先輩です。



創業当時から続く撚糸（ねんし）の作業場で。



KIKKONET（キッコーネット）の素晴らしさを語る粕谷さん。



KIKKONETの生産風景。



諫早の広大な自然に抱かれる粕谷製網本社。

積極的に自己アピールを

「私が大切にしてきたポリシーは、相手の立場に立つということです。それは、仕

事をしていくうちに、だんだん気づいてくるわけです。私も最初は、作りやすいから、儲かるからと、自分本位で売つていましたよ」。努力を重ね、継続することで、顧客ニーズが明確になつてくるという粕谷さん。お客様の立場で諫早を見つめ、お客様の求めるものを提供していくことを提案します。「諫早にはいいものがたくさんあります。頑張っている人がたくさんいます。ただ、そのことがあまり知られないように思います。自己アピールをどんどんした方がいいと思いますね」。諫早から世界に向けて情報を発信し、世界を相手にする粕谷さん。常に闘志満々、何とも頼もしい先輩です。



KIKKONETを使った生簀。



KIKKONETを使ったグランドのネット。

青春へのエール



鎮西学院の頑張りは、生徒、学生、卒業生、教師、誰にとってもうれしいものです。鎮西学院の生徒や学生の活躍ぶりにスポットをあててご紹介します。

体操競技

寺田 葉月さん(長崎ウェスレヤン大学 経済政策学科 3年)

最近の主な成績

2014年10月 第69回国民体育大会 長崎がんばらんば大会

体操競技 成年女子の部 準優勝

2015年5月 第63回九州学生体操競技選手権大会

女子個人総合選手権の部 3位

女子種目別選手権の部 段違い平行棒2位 平均台4位

若々しくキラキラと輝く表情が素敵な寺田さんは、芯が強いがんばりやさん

2015年11月 平成27年度長崎県民体育大会

体操競技 成年女子 団体優勝

女子個人総合優勝

女子種目別 平均台優勝 ゆか優勝

コーチに聞いてみました。

体操のおもしろみは、たとえば技ができるようになったとか、自分で自分の成長が目に見える、はつきりわかるところです。葉月も、そして体操の魅力を実感してきたんだと思います。

葉月のいいところは、まじめなところですね。体操って、気を抜こうと思ったら、いくらでも気を抜くことはできるんです。でも、葉月は、ちゃんと練習に来て、ちゃんと試合に向かって努力をする。まじめですよね。

お母さんのお腹にいる時からうちには来てたんですけど、もう大学生なので自分で何をやらなくちゃいけないかというのは、わかつてるとと思うんですね。やる、やらないは、本人の気持ち次第なので、あまり言うことはないのかなというのあります。4月から始まる大学生最後のシーズンで、いい結果を残せるといいですよね。



スポーツクラブ内村 代表

(社)全日本ジュニア体操クラブ連盟加盟

諫早市体操協会理事長 内村和久コーチ

【内村和久コーチプロフィール】

柳川商業高校(現柳川高校)時代に高校総体のゆかと跳馬で優勝経験を持つ、日本体育大学体操競技部出身の元体操選手。1992年「スポーツクラブ内村」開設。金メダリスト内村航平選手の父。

幼い頃から体操とともに

「幼稚園ぐらいまでは体操をするのがいやで、ずっと泣いていました。でも、小学校に入学したぐらいから、だんだんわかるようになってきて、だんだん楽しくなってきたんです」という寺田葉月さんが体操を始めたのは3歳の頃。年上のいとこが習っていて、それをずっと見ていたお母さんが「我が子にも」ということで、内村スポーツクラブに通うようになったそうです。

最初は、簡単に体を動かすことやリズム運動などから、徐々に、マット運動、前回り、後ろ回りとステップアップしていきました。「小さい頃からやっていたので体が柔らかくて、硬くなつたことがないんですよ」。実にうらやましい柔軟な体の持ち主の寺田さんが、試合への出場や試合で勝つことを目標に掲げる選手コースに進んだのは小学校1年生の時。そこから、本格的に体操と向き合う日々がスタートしました。

栄光への努力を重ねて

選手コースで、土曜、日曜関係なく毎日4時間の練習をこなしてきた寺田さん。体操を始めて約20年、学校が終わったら練習という生活が15年続いています。「ここまで続けてこられたのは、内村先生と両親のおかけです。先生は私がいい演技ができるように指導してくださいますし、

両親は月謝を何も言わずにずっと払ってくれて、送り迎えもしてくれています」。

他の習い事は一切せずに、体操一筋。

小学校の中学校年ぐらいから、バク転や宙返り、ひねりなどができるようになります。体操に夢中になつていつたそうです。体操が続けたくて、高校は鎮西学院高校を、大学は長崎ウエスレян大学を選びました。

女子の体操競技は、ゆか、平均台、跳馬、段違い平行棒の4種目。中でも平均台が得意で、長崎県内はもとより、九州、西日本、全国の舞台で活躍してきた寺田さんは、まさに長崎が誇るアスリートです。

昨年の長崎国体では、体操競技成年女子の部準優勝という素晴らしい結果を残し、地元での大会を大いに盛り上げました。

寺田さんの体操選手としての最後のシーズンは、今年の4月から始まります。そして、その先に広がる新たな人生でも、シーザンは、今までの4月から始まります。「1つのことをここまで続けてこれたのは、自分の中でも自信になつてゐるし、社会に出ても役立つかなと思っています」。

体操で学んだことを基礎に

「私は、他の人より不器用なんです。運動神経が鈍くて、感覚もあまりよくない。球技はまったくできません。だから、何回も練習して、こなしていく感じです」。はじめて中途半端なことが嫌いな寺田さんは、目標に向かつて努力を重ねるタイプです。

「遊びたいとか、練習をしたくないとか思う時もあります。でも、ここでやめたらもったいない。今頑張つておけば、引退した時に頑張つてよかったと思えるかなと

寺田さんを力強くサポートしてくれるこそでしよう。

寺田さんを力強くサポートしてくれるこそでしよう。

柔軟な体でゆかのボーズもばっちり決まって



鎮西学院高校1年の弟・寺田優太さん(左)も体操競技の選手。内村コーチと3人でにっこりと



得意の平均台で
バランスを保って美しく





「辛酸佳境に入る。また楽しからずや。」

今年こそは、世界に平和が確立され、戦争や民族抗争も終焉を迎える、世界の人々が等しく人間として尊厳を持って生きられるようになることを祈らずにはおられません。そして、その方法を世界中で考えねばなりません。

今年10月、鎮西学院は、創立135年を迎えます。しかし、その135年は、苦難といばらの道でした。

今再び、鎮西学院は、少子高齢化の波に揉まれ、極めて厳しい道を歩かなければならぬ状況におかれています。国公立大学・私立大学、公立高校・私立高校もその存続を賭けて必死の競争を展開しているからです。競争は、激しくなるばかりです。

明治時代、足尾鉱毒事件で住民の先頭になり鉱毒問題と闘った代議士・田中正造翁は、鉱山側との戦いが激しくなる中で、翁が足尾の住民を諭した言葉を表題にしています。戦いは、激しさをましているが（「辛酸佳境に入る」）、一息おいて楽しんでまた戦いに臨んで行こうというのです。翁は、地主の家柄でしたが、この戦いのためにすべてを失い、最後には、使い古しの布袋が一つ残っただけでした。その中には、一冊の新約聖書と日記が入っていました。

私たちも、また田中正造翁の言葉のように極めて厳しい戦いの局面にありますが、心に余裕をもって競争に対処して行こうと思うのです。そうすれば、素晴らしいアイデアや希望も湧いてくるもの信じています。

今年度の学院聖句は、旧約聖書・箴言23章18節「確かに未来はある 貴方の希望は断たれることはない」を選びました。私たちの鎮西学院を象徴しているかのような聖句です。

この聖句のように、希望を持って鎮西学院の全教職員や卒業生が一丸となって更に創立150年を目指して学院存続のために頑張って行きたいと思います。

嬉しいニュースがあります。東京大学名誉教授で聖学院大学の学長も歴任され、熊本県立劇場の理事長兼館長でもある姜尚中先生が、4月から鎮西学院教育顧問に就任されることが決まりました。鎮西学院に国際的な視野と文化的な香りを加えていただることになります。2月2日に諫早文化会館で、鎮西学院主催で姜先生の講演会が開かれます。多くの皆様のご参加を期待しております。

鎮西学院は、いうまでもなくキリスト教主義の学校ですから主イエスが教えた「互に大切にし合いなさいなさい」という価値観を共有する教育共同体として今年も前進して行きたいと思います。

鎮西学院 院長 森 泰一郎

学校法人 鎮西学院文化講演会の歩み



森永卓郎 氏

2009年8月22日(土)

〈講演会テーマ〉

経済学こそ普段の生活に密着した身近な学問



パックンマックン

2010年3月28日(日)

〈講演会テーマ〉

笑っておぼえる英会話



金子哲雄 氏

2011年1月9日(日)

〈講演会テーマ〉

おカネをかけずに地域を元気にする!



尾木直樹 氏

2011年5月8日(日)

〈講演会テーマ〉

子育てと教育は愛とロマン



菊間千乃 氏

2012年4月21日(土)

〈講演会テーマ〉

『人生の選択』

～私が弁護士になるまで～



ロバートキャンベル 氏

2013年6月29日(土)

〈講演会テーマ〉

『Jブンガク』のススメ

～文学を手がかりに知る長崎～



林 修 氏

2013年8月12日(月)

〈講演会テーマ〉

いつやるか?今でしょ!



姜尚中 氏

2013年12月10日(火)

〈講演会テーマ〉

心について



四元奈生美 氏

2014年7月20日(日)

ミニトークショー＆コーチング



名越康文 氏

2014年8月12日(火)

〈講演会テーマ〉

こころと心を繋ぐコミュニケーション術



秋山幸二 氏

2015年4月25日(土)

トークショー



松木安太郎 氏

2015年8月12日(水)

〈講演会テーマ〉

夢・まっしぐら



2016年2月2日(火)

姜尚中 氏

〈講演会テーマ〉

平和の条件

～核なき東アジアをもとめて～

鎮西学院幼稚園

園長 西村 暢彦

体験が子どもを育む

本園の
最新情報をHPに
掲載しています。

鎮西学院幼稚園 検索



●「人」
子どもは幼稚園に来ることで、自分と違う個性の同年代と出会い、仲良くし方、自己主張の仕方、折り合いのつけ方などを身に着けていきます。

●「もの」
生活の中では様々なものに出会います。幼児は、さりげなく準備されたものを自ら使い始めます。典型的な例が「木切れ、金づち、釘」です。

廊下のテーブルに置いておくと、誰かが釘を打ち始めます。やがて、何人の子がひたすら釘を打ち込みます。何日かすると木切れをつなぎ、何かの形を作ろうとし始めます。(この「場面づくり」が幼児教育なのです)

●「生き物」、「自然」
園は、学院の豊かな緑に包まれています。おかげで、四季を味わい、様々な生き物にも出会います。

「桜」を楽しんだり、「梅の実」を探りに行き、「梅の実ジュース」を作ったりします。「蝶々、トンボ、バッタ、カマキリ」を網で捕まえ、虫がごに入れて観察します。秋には、銀杏などの枯れ葉を使って遊び、制作もします。

●「文化」

ツリー点灯式、市民クリスマスコンサート、園のクリスマス礼拝・祝会と、たくさんのキリスト教関係の文化を体験します。「平和祈念式典」も貴重です。「鯉のぼり」、七夕、節分、雛祭りなど日本の文化体験も大切です。

私たちは、この「5つの体験」を、「意図的・計画的」に仕組んでいくことで、子どもたちをより健やかに、伸びやかに育もうとしています。



60周年に感謝して

主任 原田 裕子



60周年記念コンサート(アンサンブルレネット)



学院内を散歩する子ども達

学園内の落ち葉やどんぐりを大切に持つて散歩から戻つて来る子ども達。60年前の子ども達も同じようなことをして遊んでいたのかな。」と想像しながら、その様子を眺めています。

60年前の鎮西学院は、今以上に緑豊かな広々とした敷地に牧場があり、ジャージー種の乳牛が放牧されていました。そんな中で「オルガン1台、紙芝居30組、机は男子寮のベッドを改造したもの、園児が35名」とスタートされた幼稚園。日本中、戦後の復興のために誰もが懸命だった時代。しかし、鎮西学院幼稚園に来ると、子ども達は広々とした自然の中を駆け回り、イエスさまのお話を聞き、友だちと共に讃美歌を歌い、別世界のような毎日を過ごしました。

（よこしまな曲がった時代の中で非のうちどころのない神の子として世にあつて星のように輝き、命の言葉をしつかり保つでしよう）

新約聖書・ヨハネ福音書第2章15～16節

60年という長い歴史の中で世の中はすっかり変わりましたが、子ども達の本質が変わらないように、人として大切なものは決して変わってはいません。私達保育者は神さまからお預かりした幼な子を十分に愛し、「神と人とを愛する心豊かな人間形成」という原点を忘ることなく、日々の保育に励んでいきたいと思います。また、60年間お守りくださった神さまと、お支えくださった多くの方々に感謝しつつ、日々を過ごしていきたいです。

（よこしまな曲がった時代の中で非のうちどころのない神の子として世にあつて星のように輝き、命の言葉をしつかり保つでしよう）

仮装した人を探してお菓子をゲットするメインイベント、お化け屋敷、ゲーム、仮装グッズ・献品などの販売、先生方による作ってあそぼう、外部からの出店など、どこのコーナーも盛況だったようになります。

今年度は「バザー」という枠に縛られることがなく、親子で楽しんでもらう催しにしようと「バザー実行委員会」から「イベント企画委員会」へと名称が変更になり、14名の委員でスタートしました。毎年恒例だったも

のではあります。それでも最後、保護者の方も一緒に笑顔でダンスしてください、「あ、これでよかつたのかな。」と思った瞬間でした。

10月31日、神さまのおまもりのもとハロウィン色の会場でイベントはスタートしました。初めから終わりまでかわいい仮装をした子どもたちがキラキラした瞳でイベントを楽しんでくれる姿、またその姿をあたたかい眼差しで見つめる保護者のみなさんを見ていました。



“第3回ひかりっこあきまつり”を終えて

イベント企画委員会
そら組代表 平野 由理

のを無くしてみたり新しいことを取り入れてみたり、多少の不安はありました。それでも最後、保護者の方も一緒に笑顔でダンスしてください、「あ、これでよかつたのかな。」と思った瞬間でした。

手作り品や献品などのご協力、会場準備に後片付け、店頭のお手伝い、早朝からの駐車場整理、写真撮影、お菓子配り、警備など、支えて下さったたくさんの方々に委員一同心からお礼申上げます。

今年度は「バザー」という枠に縛られることがなく、親子で楽しんでもらう催しにしようと「バザー実行委員会」から「イベント企画委員会」へと名称が変更になりました。みんな、本当にありがとうございました！

紹介



ひかり組 (年少児)

担任／橋本千亜紀



ほし組 (年少児)

担任／荒木 智子

入園式で緊張していた子どもたちの姿がついこの前のことのようす。今では仲間も増え、ひかり組は19名のメンバーで、笑つたり時には泣いたりと、毎日賑やかに過ごしています。

以前は自分の思い通りにならないと泣いて訴えたり、なかなかことばで伝えることができないなどの姿も見られていましたが、「ことばで思いを伝える」ということがずいぶんできるようになつてきました。またケンカをしても、悪いことをしてしまっても、「だつてね……」となぜそなうしたのかを一生懸命に伝えようとする様子が成長の証だと思っています。

また最近では、クラスの仲間意識も強くなつており、クラス全体でお気に入りの絵本を見て大笑いしたり、「○○ちゃんが休みだね」と気にはけたりと、友だちの存在を大切に感じていることがよくわかります。

12月のクリスマス祝会では、大好きなクリスマスソングに合わせて、歌と合奏を披露し、人前で表現する楽しさや緊張感を味わい、またひとつ幼児期の貴重な思い出となりました。

いよいよ一年間をしめくくる3学期となりますが、クラスの友達と出会えて、毎日を一緒に過ごしていることに心から感謝し、「一日一日を大切に過ごしてほしいです。私自身も、一人ひとりの子どもたちの気持ちをしつかり受け止めながら、心を通わせて行きたいと思っています。

どうか3月までの日々を、ひかり組の子どもたちが元気に過ごせますように、神さまお守り下さい。

月日の経つのは早いもので、4月に始まつたほし組も、あつという間に3学期を迎える残りわずかとなつてきました。

思い起こすと、初めての集団生活。お母さんと離れるのが不安で、泣く子もいた入園当初。少しずつ園生活に慣れ、自分のことだけではなく、友達の存在に気づき、今では友達と遊ぶのが楽しくて仕方ないという感じの子ども達です。

また、ほし組は穏やかで優しい子ども達ばかりです。病気で欠席した友達を心配したり、困つて泣いている友達に声をかけ、「大丈夫?」と励ます姿がよく見られ、大人の方が教えられ、温かい気持ちになります。

このように幼稚園生活で友達と一緒に遊び、時にはけんかをしながら、友達との関わり方を自然に学んでいます。

10月の運動会では小さな体を一生懸命動かし、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わいました。先日行われたクリスマス祝会では、かわいいリズム劇を沢山のお家の方々の前で披露し、自信をつけました。そして益々クラスのみんなが仲間意識を持つて、過ごすようになりました。

様々な行事に参加し沢山の経験を重ねて、体だけでなく心も随分大きく、たくましく成長したことを感じ、担任として嬉しく思います。

残り少ないほし組の子ども達との日々です。一日一日を大切に、神さまがいつも見守つてくださることに安心し、感謝の気持ちを忘れず、笑顔で元気いっぱい過ごしたいと思います。



にじ組 (年中児)

担任／林田 典子



子ども達との生活がとても楽しく、あつと/or間に3学期を迎えた。この1年子ども達は、友だちと一緒に過ごす楽しさや、自分の思い通りにならない悔しさ、クラス全員で一つのことをやり遂げる達成感や充実感など、様々な気持ちを感じてきました。この毎日の小さな積み重ねにより、体だけではなく、心も随分大きく成長しています。

12月に行われたクリスマス祝会では、リズム劇「おむすびころりん」にチャレンジしました。練習していくうちに、子ども達の意欲も少しずつ高まり、不安な気持ちも自信へと変わりました。当日は、緊張しながらも、大勢のお客さんの前で堂々と自分のセリフを言う子ども達の姿に感動しました。

進級当初に掲げた「みんなで一緒に1日1歩」というクラス目標。いま確実に子ども達は、みんなで力を合わせて、1日1歩進み、クラスの大きな成長に繋がっています。

毎日笑顔の絶えないにじ組の子ども達。この1年たくさんの笑顔をプレゼントしてくれました！残り少ないにじ組での生活。今まで以上に1日1日を楽しみ、たくさんの思い出を作っていきたいと思います！



そら組 (年長児)

担任／江頭 弘美

年が明け、いよいよ3学期がスタートしました。そら組の子ども達にとつては、幼稚園で過ごす最後の学期となり、卒園そして小学校入学に向けての意識が高まっていく時です。

これまで振り返つてみると、子ども達と過ごした日々は本当にあつという間で、もうすぐ卒園していくことを考えるととても寂しい気持ちになります。

鬼ごっこに夢中だった1学期。子ども達は新しいクラスの雰囲気に慣れていき、大人しかった子も少しずつ自分を表現してくれるようになりました。

行事が盛りだくさんだった2学期。子ども達は運動会や芋掘り、バザーにクリスマスにと、たくさんの良い経験をしました。運動会での組体操では、最後まで諦めない心が育ちました。クリスマス会でのペーパーベントやハンドベルでは、協力する気持ちが生まれ、みんなで表現する喜びを感じることができました。

そして3学期。残り3ヶ月ですが、まだまだ子ども達の成長が楽しみです。これからも周りの人への感謝の気持ちを忘れず、友達を大切にしながら笑顔で園生活を送ってほしいと思います。



し、日々の練習に励んでおります。

長崎県高総体駅伝競走大会では、本校陸上部がライバル校である諫早高校や瓊浦高校と最後まで三つ巴の戦いを繰り広げましたが、惜しくも第3位の成績に終わり、全国大会出場を逃してしまいました。

春校バレー長崎県大会では、バレー部男子が昨年同様決勝で強豪大村工業高に挑みましたが、健闘むなしく準優勝という結果となりました。なお、男子バレーボール部は、全国私学バレーボール佐賀・長崎予選で佐賀県ナンバーワンの佐賀学園高校と決勝戦を行い、2対0で下し来年3月東京で行われる全国私学大会に出場することが決まりました。

長崎県高総体新人戦において卓球女子が団体優勝、卓球男子が準優勝を果たし、来年度の高校総体に期待が持てる結果を残してくださいました。

文化部では、吹奏楽部が長崎県吹奏楽コンクールで21年連続金賞を受賞したものの、残念ながら九州大会出場を果たすことができませんでした。しかし九州マーチングコンテスト長崎県大会で金賞を受賞し、九州大会に出場を果たすことができました。

進路実績

12月11日現在で、長崎大学2名、熊本大学、長崎県立大学3名、北九州市立大学、防衛大学校(次)3名(職業能力開発総合大学校、国際基督教大学18年ぶり)、青

山学院大学、明治学院大学、関西学院大学、西南学院大学2名、福岡大学2名、長

崎ウエスレян大学19名等の合格が内定しております。今年は一般私学コースから公立大学や同盟校への推薦合格者を多数出すことができました。早い段階からの小論文に結びついたものと評価しております。

公務員に関しては、自衛官は自衛隊航空学生等24名の合格、公務員一般は、国家一般職、刑務官、長崎県警察等一次合格者31名を出すことができました。現在、2次試験に向けて特訓中です。

なお、一般企業就職については、三菱・日立パワーシステム、たちばな信用金庫、ウラノなど、合格内定率は10月末までに5年連続の100%を達成することができました。

NHK学園鎮西学院協力校2015年のスクーリングの全日程終了

NHK学園鎮西学院協力校の今年のスクーリング(ひと月平均2回実施)の全日程が12月13日をもって終了し、1月と2月に年度末試験実施予定です。本学院協力校には76名が在籍しています。



2015年 8月～11月

各部活動戦績



女子サッカーチーム

全国高等学校総合体育大会

団体3位

一回戦 鎮西 4-0 神戸第一(兵庫)

二回戦 鎮西 1-1 作陽(岡山)
(pk 4-2)

準決勝 鎮西 9-0 日の本(兵庫)

長崎県高等学校女子サッカー選手権大会

優勝(九州大会出場)

決勝 鎕西 4-0 島原商業

九州女子サッカー選手権大会

優勝(皇后杯出場)

準決勝 鎕西 3-0 神村学園(鹿児島)

決勝 鎕西 6-0 琉球ディゴス
(沖縄)

九州高等学校女子サッカー選手権大会

3位(全国大会出場)

2回戦 鎕西 3-0 東海大星翔(熊本)

準決勝 鎕西 0-2 神村学園(鹿児島)

3位決 鎕西 2-0 東海大第五(福岡)

全国高等学校女子サッカー選手権大会

一回戦 鎕西 0-0 星槎湘南(神奈川)
(pk 5-4)

二回戦 鎕西 0-3 藤枝順心(静岡)

男子卓球部

長崎県卓球選手権大会

一般シングルス

2位 3 A吉野彪功

一般ダブルス

2位 3 A吉野・福田(卒業生)

3位 1 D針尾・1 D馬渡

高校シングルス

2位 2 A田口斗真

3位 2 B福田瑛二 1 D針尾恭輔

高校ダブルス

3位 2 A田口・2 C松木

1 D針尾・1 D馬渡

長崎県高等学校新人大会

団体 準優勝(九州大会出場)

シングルス

3位 1 D馬渡元樹

ダブルス

3位 2 A田口・2 C松木

1 D針尾・1 D馬渡

和歌山国体

第5位

監督:松井伸英 選手:3 A吉野彪功

女子卓球部

長崎県卓球選手権大会

一般シングルス

3位 2 E II 富田弥佑

一般ダブルス

1位 2 E II 富田・2 D安田

高校シングルス

1位 2 E II 富田弥佑

高校ダブルス

1位 2 E II 富田・2 D安田

長崎県高等学校新人大会

団体 優勝(九州大会出場)

シングルス

1位 1 C李楠

3位 2 E II 富田弥佑

2 F上口あいり

ダブルス

1位 2 E II 富田・2 D安田

3位 2 C平松・1 C李楠

陸上部

長崎県高等学校新人大会

男子1500m

1位 2 C阿比留 魁

男子3000m

1位 2 K辻 将夢

長崎県高等学校総合体育大会

駅伝の部 第3位

男子バレーボール部

春高バレー県大会

準優勝

準決勝 鎕西 2-0 南山

決勝 鎕西 0-3 大村工業

柔道部

長崎県高等学校新人大会

男子個人

73kg級 3位 2 B山本大輝

女子個人

52kg級 3位 1 D田村夏鈴

70kg級 3位 2 K下釜さおり

78kg級 2位 1 F岩崎 唯

3位 1 B山本真琴

体操部

長崎県高等学校新人大会

男子 団体 準優勝

ボクシング同好会

国体九州ブロック大会

ライトウェルター級 3位 3 J大坪知生

和歌山国体

ライトウェルター級 5位 3 J大坪知生

吹奏楽部

長崎県吹奏楽コンクール 金賞

長崎県マーチングコンクール 金賞

九州マーチングコンクール 銀賞

書道部

高野山競書大会

一般の部

特別賞 濱田紘寿 教諭

学生の部

特別賞

2 E I 中島鶴絵 3 D山新田育美
特選

3 C土肥楓夏 3 E I 中島 巍

3 C辻口真奈 2 C森 結香





鎮西学院諫早市民クリスマスコンサート2015

今では国民的行事となっているクリスマス。正しくは Christmas と表記され、Christ(キリスト)と mas(ミサ・礼拝)の二つの言葉が合わさり、キリストの礼拝と言う意味である。救い主であるイエス・キリストの誕生を喜び祝い、感謝をする礼拝ということになる。昨今、いたる所でクリスマスと称するイベントや催し物が行われているが、本当の意味でのクリスマスを行っているのはわずかであろう。その本物を体験できるのが、鎮西学院諫早市民クリスマスなのである。

今年は12月12日(土)13時30分に、一部「礼拝」、二部「祝会」の二部構成で行われた。一部の礼拝では、オール鎮西学院が参加し、吹奏楽部の演奏によるファンファーレに続き、一同で讃美歌158番を讃美した。総宗教主事の祈祷の後、大学生の聖書朗読と、高等学校コーラス部の讃美歌斎唱を交互に行い、御言葉と讃美のコントラストを楽しみ、その間に幼稚園児が舞台に立ち、クレッッシュ(イエスの誕生の場面を人形等を用いて表したもの)を再現。目で見るイエスのご降誕を演出した。園児の讃美の後、讃美歌112番を讃美、幼稚園児の祈祷を行い、吹奏楽部の演奏による後奏をもって一部は終了した。

二部「祝会」は、大学留学生による「One Music One World」を皮切りにスタートした。全八ヶ国の中学生が集い、それぞれの国を代表するパフォーマンスを披露し、国際色豊かなひと時を与えられた。2番目は幼稚園児によるハンドベル演奏「おめでとうクリスマス」と「ドレミのまほう」の合唱が行われ、その愛らしさとひたむきさは会衆を魅了した。その後はゲスト出演となり、諫早ジュニア合唱団が「クリスマスキャロル・メドレー」等4曲を合唱、北諫早中学校吹奏楽部が「Happy! Happy! Happy!!! X'mas」、諫早中学校吹奏楽部が「アーセナル」「クリスマス・イブ」を演奏して下さった。どの音色も温かみがあり、クリスマスにふさわしいものであった。時間を割いてこの市民クリスマスに参加して下さった若人やその指導者に、心から感謝する次第である。最後は鎮西学院高校吹奏楽部の演奏が行われた。1曲目は「ルイ・ブルジョワの贅歌による変奏曲」、2曲目に高校卒業生のサクソフォーン演奏者 岩本瑛里奈さんが登場して、「カーニバル」を後輩達と共に演し、クリスマスを盛り上げた。その後はクライマックスを迎え、吹奏楽部の演奏に合わせ、ヘンデル作曲の「メサイヤ」にある「ハallelヤコーラス」を一同で合唱した。

グランドフィナーレとして鎮西学院の出演者が登壇し、「赤鼻のトナカイ」と「きよしこの夜」を合唱し、プログラムを閉じた。

今回も昨年に引き続き、司会に高校卒業生の芳野裕美さん、手話通訳者に大学卒業生の谷川尚美さんを迎えて、鎮西学院諫早市民クリスマスコンサートを実施できたこともクリスマスの喜びの一つであろう。

次年度は学院創立135周年の記念の年を迎える。今まで以上に市民の皆さん的心に残る市民クリスマスを創造すべく、良き準備の時を与えられたいと願っている。

鎮西学院 総宗教主事 鐵 口 宗 久



飛躍の年を振り返る

2015年1月3日、本校女子サッカー部は、全日本高等学校女子サッカー選手権大会(兵庫県)で2015年をスタートした。1回戦の相手である東北代表の富岡高校に3対1で勝利。県勢初勝利を飾った。2回戦は地元兵庫県代表で昨年度覇者の日ノ本学園高校。結果は0対4で敗れ2014年度の最後の試合を終えた。悔しい思いもあつたが、川原監督の「満足感のある試合だった」がその後の飛躍につながる。

2015年度のチーム目標は「九州王者」と「全国ベスト4」これを支えるスローガンを「有言実行」として新チームがスタートした。全国大会から間をおかず新メンバーで臨んだ県新人戦で4連覇を果たすと、3月の県外遠征で力をつけ臨んだ九州などで、この大会県予選も2連覇を達成。5月の西日本大会でスタイルの違うチームと戦い力をつけた。しかし、この大会でDFの大塚が負傷で離脱。5月9日開催の、九州なしでこの大会に不安を残したまま初戦を迎えた。1回戦の佐賀大学を4対0で下し幸先の良いスタートを切るが、ここでさらなる試練がチームを襲う。準決勝の大分トリニータレ

ディスに4対0で勝利するものの、この試合でキヤプテン矢野が負傷。精神的支柱を失うこととなつた。決勝戦では常勝神村学園との戦いとなつたが、「九州王者」を目指に掲げるチームは底力を発揮、攻め込まれる場面もあつたが、DF峰本、渡邊を中心に守り抜き0対0のまま延長戦でも決着がつかずPK戦に突入。5人全員が決め勝利を手にした。チーム一丸となつた大会無失点の粘りと1年生の活躍が大きな扉を開き、九州大会初優勝を飾つた。

6月に入り県高校総体で5連覇を達成すると、勢いそのままに九州大会を勝ち上がる。初戦美里高校には、けがから復帰した矢野のゴールを含む4得点で快勝。続く準決勝は九州2枠のインターハイ切符を懸けた神村学園との対戦。再び立ちはだかる大きな壁に序盤から押し込まれる展開となつたが、GK岩井を中心、DFラインの山本、渡邊、峰本、牛崎と、MF三本、山川の統率された6枚が相手の攻撃に耐え続けカウンターを狙つた。先制ゴールは山川。後半10分、CKからのこぼれ球をダイビングヘッドで押し込み、これが決勝点となつた。





決勝戦の相手は東海第五(福岡)。序盤から圧倒的に試合を支配しながら得点ができない時間が続いた。何度もゴールに迫りながらネットを揺らすことができない。嫌なムードを払拭したのは、昨年11月に右膝を手術して戦列を離れていた3年生のDF田中だった。途中出場の後半10分、CKに飛び込み頭で合わせた。「ずっとみんなに支えられた」と話す苦労人が試合を動かすと、さらに5分後、MF三本が2点目を押し込み勝利を決定づける。九州連覇を告げる試合終了のホイッスルが高々とグラウンドに響いた。

「風になれ 今青春が走り出す」をスロー

ガニにした全国高校総合体育大会(君が創る近畿総体)が8月5日から兵庫県で開催された。「全国ベスト4」を目標に掲げる大会がスタートした。初戦の相手である地元神戸第一を開始直後から圧倒し、4対0で幸先の良いスタートを切った。目標の4強入りを懸けた次の試合は、くしくも2年前に準々決勝で敗れた作陽(岡山)。開始早々にPKでいきなり失点したが、前半21分、一時期けがで戦列を離れていたDF田中が右サイドを突破しゴール前へ絶妙のクロスボール。これに頭で合わせたのがキヤプテン矢野。阿吽の呼吸が同点弾を生んだ。その後は両チーム一進一退の攻防を繰り広げたが同点のままPK戦へ突入。PK戦に入

ると、これまでずっと最後尾からチームメイトを鼓舞し、背中を押し続けてきたGK岩井が相手の1本目をファインセーブ。後蹴りの4人目はDF峰本、これを決めれば勝利が決まる。右足で放たれたボールがネットを揺らした瞬間、センターサークルから笑顔のメンバーが飛び出した。「有言実行」のイレブンが「全国ベスト4」をつかんだ。続く準決勝は昨年の覇者日ノ本学園。4度を超えるピッチコンディションの中、防戦一方の試合展開にも真っ向勝負を挑んだ。大差で敗れたが日本一を感じた貴重な財産となつた。優秀選手メンバーにはキャプテン矢野が名を連ねた。

夏の全国3位から一回り成長したイレブンが再び躍動する。10月に行われた九州女子サッカー選手権大会(鹿児島県霧島市)で優勝し、九州大会3連覇で皇后杯出場。直後に開催された全日本高等学校女子サッカー選手権大会九州予選でも3位入賞し全国への切符を二たびつかんだ。田中前監督のモットーである「ステップバイステップ」を継承し、つなぎ続けた全国への道のり。部員44名の、明るく抜群のチームワークを誇る女子サッカー部が、インターハイ3位の兵庫の地で再び頂点を目指す。2016年1月3日、今シーズンの集大成を川原監督の「有言実行」が締めくくる。



「長崎ウエスレヤン大学は、今」

学長
佐藤 快信

新たな年を迎える飛躍の年としてこの一年間を過ごしていきたいと考えています。これからも、本学の教育にご理解を賜り、ご支援のほどをお願い申し上げます。

六月以降の動きとしては、「大学力」の向上のための経常費・施設費・設備費を一体として重点的に支援される文部科学省平成27年度私立大学改革総合支援事業に申請し、本学はタイプ1「教育の質的転換」とタイプ4「グローバル化」で採択され、私立大學経常費補助金等が増額され教育環境がより充実したものとなります。また、文部科学省から「成長分野における中核的専門的人材養成の戦略的推進事業」(観光分野)が今年度も委託され研究調査も進めています。

中期経営戦略の「活動する学生」の目的を達成するために、学生たちのフィールドワークの場の確保やインターンシップの研修機会などを地域との連携を図りながら進めています。今年度は、諫早市社会福祉協議会との連携協定、V・ファーレン長崎とは学院として連携協定を締結し地域連携の強化に努めています。



業高校の生徒さんの参加もあり、併せて卒業生を対象とした3回目を迎える「ホームカミングデー」にも多くの短期大学・大学のO B・O Gが集まつてくれました。夕方からの懇親会には、鎮西学院短期大学3期生+沖縄合同同窓会も合流し、多くのO B・O Gに参加して頂きながら、教職員との楽しい交流の時間を持つことができました。

また、お気に入りの本の魅力を訴える知的書評合戦「ビブリオバトル」では、経済政策学科3年生の藤原礼武君が北部九州大会で準優勝し、首都決戦に出場しました。他にも、学生サポートーズの「ぶつく俱楽部」が御館山小学校での読み語りなど教育活動にも活動を広げています。

O B・O Gが集まつてくれました。夕方からの懇親会には、鎮西学院短期大学3期生+沖縄合同同窓会も合流し、多くのO B・O Gに参加して頂きながら、教職員との楽しい交流の時間を持つことができました。

こうした教育・研究をさらに発展させ、地域から信頼される、地域になくてはならない大学づくりに邁進いたしますので、どうぞ、ご支援頂きますよう、お願い申し上げます。





今年も『短期大学・大学ホームカミング』が開催されました。

大学 第8回卒業生

竹田 雄亮

大學 2ドール祭が行われた10月31日土曜日『鎮西学院校友会 短期大学・大学部会ホームカミング』が開催されました。

巣立つて行つた校友のみなさんを、年に一度母校が「おかえりなさい」と迎えてくれるこの日は、今年もたくさんの校友の皆さん「ただいま」と笑顔で参加をされました。

特に大学からホテルセンリュウに場所を移して行われた第二部の懇親会では、お酒を交えながらそれぞれが学生時代の思い出話に花を咲かせ、久しぶりに学生時代に戻ったような気分を味わいました。

また、懇親会中の催し物として留学生のパフォーマンスやウエ大のんの青年団による「祭りのんのこ」も披露され会場は終始笑顔と楽しい雰囲気に包まれていました。そして、こちらも恒例となった最後のbingo大会では長崎和牛やタブレット端末など今年も豪華景品が用意されbingoの数字が読み上げられる度に一喜一憂し大盛り上がりとなりました。景品が当たった方はもちろん、惜しくも当たらなかつた方もこれにめげずには是非来年のbingo大会もまた楽しみにしていて下さい！

昨年同様、我が母校らしいアツトホームな雰囲気の中、みんなの笑顔溢れる1日となりました。

来年もまた、この日にたくさんの校友のみなさんの「ただいま」が聞けることを楽しみにしています。



2016年卒生進路状況

2015年12月末時点

キャリア支援係

■卒業予定者91名（就職希望者77名 就職希望しない者14名）

■就職希望者内定率58.4%（内定者45名／就職希望者77名）

■学科別内定率　社会福祉学科45.9%　経済政策学科73.1%　外国語学科64.3%

■就職希望者以外14名（進学・留学7名　帰国・その他7名）

1 | 本学の就職内定率58.4%

前年同期比10.0%増(前年卒業生4月末時点91.5%)

文科省調査10月1日時点 全国62大学抽出66.5%（昨年同期比1.9%減）

長崎労働局統計11月末時点 長崎県内8大学70.1%（昨年同期比2.5%増）

2 | 県内就職にこだわる本学生

本学内定率は文科省調査(10月1日時点)66.5%に比較すると8.1%下回るが11月末時点の県内大学内定率70.1%（県内62.0%県外75.3%）、特に県内就職に比較すると3.6%マイナスとその差は小さくなる。県内大学の統計で県内就職62.0%県外就職75.3%と13.3%もの開きがあるように県内の就職環境は厳しい。にもかかわらず本学生は県内就職にこだわる傾向が強い。上記本学内定者45名のうち県外勤務となるのは3名のみで、ほとんどが県内就職を希望しており、その為苦戦している。

(参考)本学に送られて来る求人件数で見ると、2016年卒業対象の場合全求人数が約2,400件、うち県内求人は約400件。

3 | 県外企業内定者は早期短期決着

数少ない県外企業内定者は卒業前年の7月に早々と内定獲得している。地元にこだわらず県外就職をめざして早期に就職活動を開始した学生は早期に内定し、余裕をもってその後の残された学生生活を楽しむことができ、卒業論文にも集中できている。

4 | 社会福祉学科生の内定率が低いわけ

一般に社会福祉を学んでも社会福祉業界に就職する学生は多くはない。本学では社会福祉学科生の2/3と多いほうだが、都市部の大学では1割程度と聞く。また、福祉業界の採用活動開始は秋以降のところが多く全業界の中では遅い。この動きに連動して社会福祉学科生の就職活動開始時期は遅くなりがち。危険なのは他業界志望の社会福祉学科生までも他の同学科生の動きにあわせて開始が遅れ、4年生後期になつても就活を始めず、そのうちに卒業論文の締切(本学社会福祉学科は10月末)に追われ「就職活動どころではない」という状態に陥る。

このため冒頭のように12月末時点での社会福祉学科の就職率が極端に低くなっている。さらに、1月下旬に実施される社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験を受ける者は就職活動が後回しされる。しかし試験後は活動開始するので、卒業式までには少しでも多くの学生が就職決定出来る様今後指導を強化していきたい。

以上



重松史郎司法書士事務所



司法書士
重 松 史 郎 (新高18回生)



事務所



〒810-0073
福岡市中央区舞鶴3丁目1番8号
(本町ビル3階)

TEL 092-751-7863
FAX 092-751-2482
E-mail shuna@xg7.so-net.ne.jp

「シャロン」

シャロンというのは聖書の舞台であるイスラエルの地名のひとつで、乾燥した気候のイスラエルにあっては珍しく、植物が生い茂り、花も咲く肥沃な土地なので、旧約聖書の中では理想郷のように扱われている場所です。「シャロンの花」とはそこに咲く可憐な花で、日本では「ムクゲ」と呼ばれます。旧約聖書の一編である「雅歌」では、純潔の象徴としてこの花が登場します。

讃美歌II192番 "Jesus, rose of Sharon" Lyrics Ida A. Guirey 1922 Music Charles H.Gabriel 1922

学校法人

鎮西学院

〒854-0082 長崎県諫早市西栄田1212-1
TEL 0957-26-8200 URL <http://www.chinzei-gakuin.jp/>

鎮西学院幼稚園

TEL 0957-25-1231
FAX 0957-25-1257
URL <http://chinzeigakuinyouchien.ed.jp>

鎮西学院高等学校

TEL 0957-25-1234
FAX 0957-25-1237
URL <http://chinzeigakuin.ed.jp>

長崎ウエスレヤン大学

TEL 0957-26-1234
FAX 0957-26-2063
URL <http://www.wesleyan.ac.jp>

鎮西学院だより「シャロン」

2016. Vol.2

発行日／2016年1月30日

編集・発行／鎮西学院広報戦略室

発行人／森 泰一郎(学院長)

編集長／上田 常雄(広報戦略室長)